

次世代 IP ネットワーク推進フォーラム 利活用促進部会会合(第1回) 議事録(案)

日時:平成 20 年 4 月 25 日(金) 16:00 ~ 17:15

場所:虎ノ門パストラル 新館 4 階「ミント」

出席者

利活用促進部会長 國領二郎(慶應義塾大学)

新ビジネス検討 WG リーダ 中村伊知哉(慶應義塾大学)

他 29 名

総務省

電気通信技術システム課 竹内課長、大西補佐、渡辺係長

事務局

情報通信研究機構 伊藤グループリーダー他

配付資料

資料1 次世代 IP ネットワーク推進フォーラム利活用促進部会設置要綱(案)

資料2 次世代 IP ネットワーク推進フォーラム利活用促進部会構成員名簿

資料3 次世代 IP ネットワーク推進フォーラム利活用促進部会活動方針(案)

資料4 ワーキンググループの設置について(案)

資料5 ワーキンググループの参加について(案)

資料6 新ビジネス検討 WG 検討テーマの募集について

資料7 NGN フィールドトライアルと今後の展開

資料8 IP データキャストのご提案

議事内容:

1. 開会(事務局)

2. 総務省挨拶(竹内課長)

ネットワークの IP 化が進んでいる。これまで、本フォーラムでは、相互接続や技術基準をどうするか、トラブル発生時の対応などについてご検討頂いてきた。今回、利活用促進ということで、IP 網を使った新しいサービスについて関係者間で最新の事例を共有し、また、新しいビジネスモデルの検討や実証実験の取組みなどについて、大いに期待している。

3. 配布資料確認

事務局より、配布資料の確認がなされた。

4. 議事

(1) 利活用促進部会設置要綱について

資料 1 に基づき、事務局より説明。利活用促進部会設置要綱が案のとおり承認された。

(2) 利活用促進部会の活動方針及びワーキンググループの設置について

資料 3 及び資料 4 に基づき、事務局より説明。利活用促進部会の活動方針及びワーキンググループの設置が案のとおり承認された。

(3) WG リーダーの指名

國領部会長により、利活用 WG リーダーとして東北大学教授 曾根秀明氏が、新ビジネス検討 WG リーダーとして慶應義塾大学教授 中村伊知哉氏が指名された。

また、國領部会長により、部会長代理として両 WG リーダーが指名された。

(4) ワーキンググループへの参加について

資料5に基づき、事務局よりワーキンググループへの参加について説明。

資料6に基づき、事務局より新ビジネス検討 WG 検討テーマの募集について説明。

質疑応答：

WG の第 1 回会合予定は？

事務局：利活用 WG は未定。新ビジネス検討 WG は 5 月 20 日を予定。

各 WG のスケジュールは？

事務局：各 WG で検討して頂くことになる。

中村 WG リーダー：WG 参加者と議論することになるが、ユビキタス特区への提案などを視野に早いピッチで検討を進めていきたい。

2つの WG の関係は？

國領部会長：走りながら考えていく部分はあるが、相互に連携しながら進めていきたい。検討テーマについても当初から固める必要もないものとする。各 WG への参加をお願いしたい。

(5) プレゼンテーション

「NGN フィールドトライアルと今後の展開」

資料7に基づき、NTT 安倍氏からプレゼンテーションがなされた。

「IP データキャストのご提案」

資料8に基づき、慶應義塾大学根津氏からプレゼンテーションがなされた。

質疑応答：

IP を放送に活用した場合、ルーターが必要なのか？

根津氏：デジタル放送の TS に IP を埋め込む仕様がある。NHK においても BS 放送に IP を直接搭載することが検討されている。

IP アドレスは放送においては、必ずしも必要ないのではないかと？

根津氏：クライアントからの返送は、必ずしも必要ないので IP アドレスは不要。パケットを返す場合には、擬似的な方法による。

利活用促進部会は、NGN を前提とするのか、それ以外も対象に含まれるのか？

竹内課長：NTT 東西は NGN だが、他のキャリアは必ずしも ITU 勧告をベースにしていないので、NGN は当然としてそれ以外を含めて検討して頂きたい。

新しいサービスの検討であるが、実証実験を実施する際には、利用者がコストを意識した実証実験とすべき。単なる技術実証実験だと実現化できないことが多い。

國領部会長：サービスの実証実験は、利用者のコスト意識を踏まえたものとするべきと考える。

新ビジネス検討 WG 検討テーマ募集だが、企業秘密で提案しにくいものの取扱いは？

事務局：WG で取り扱えるテーマと企業秘密等の関係で各企業で検討すべきものがあるのではないかと考える。

(6)その他

部会構成員名簿について
事務局より説明。

- ・ 変更・誤り等があれば、事務局まで連絡願いたい。

次回会合予定について
事務局より説明。

- ・ 本年夏を目処に開催予定。具体的な日程については、各WGでの検討状況を踏まえ、後日連絡する。

5. 閉会(國領部会長)

以上